



『面接練習で思うこと』

校長 勝 幸 八

この二学期は3年生にとって高校卒業後の進路が決定する時期でした。就職試験は9月から始まり、大学、短大、専門学校の入試は10月から3月まで続きます。試験では学科試験だけではなく面接試験もあります。今回は、夏休みからこの12月まで、3年生の就職、進学のための面接練習、模擬面接についてお知らせします。

生徒は1ヶ月ほどかけて、志望動機や高校生活で印象に残っていること、自分の長所などについて考え、願書や志望理由書としてまとめ、受験する会社や学校へ提出しています。それをもとに面接練習に臨みます。面接の練習は放課後、30分から1時間、面接官は職員です。担任、3学年の先生、他学年の先生、教頭、校長までほとんど全ての職員が面接官になります。そのため、少なくとも4、5回、多ければ10数回の模擬面接を受けます。期間にして1週間から2週間です。

模擬面接では、過去の面接試験の質問も参考に質問をします。その後、気づいた点などを互いに話しながら模擬面接について評価をしていきます。評価内容は、面接室への入室退室の仕方、話すときの姿勢、視線の位置、話すスピード、声の大きさ、言葉遣い、話すときの癖、表情など相手に与える印象や、聞き取りやすい話し方をしているかなどの基本的なこと。志望理由がはっきりし、理解できる内容か。会社の仕事内容、志望している学校で学ぶ内容を理解しているかなど多岐に及びます。一人の面接官で全てを網羅することはできませんし、複数の面接官が対応することで違った角度から見ていくこととなります。

志望理由を聴くなかで、疑問に思う点を質問し、また、話し合うなかで志望するきっかけになった出来事や考えを問うていくと、生徒はその事実を思いだしさらに深く考え、基本的な自分の考え方、自分の特徴などを認識していきます。例えば、小学校の頃、母親や父親の働く姿をみてその仕事に興味を持ち、中学校の職場体験や高校のインターシップでその職場を体験し実際にその仕事に就きたくなった。体力に自信があるので体を使って人の役に立つ仕事がしたい。人の気持ち推し量ることができ、気遣うことができるので、それを仕事に活かしたいなど。また、なぜ地元長崎でなくて福岡、佐賀、愛知などの会社や学校なのかという質問の関連で、小値賀のことを聞かれることが多いようですが、この質問は小値賀のことを再考する機会になっています。さらに、高校で印象に残っている経験については、授業や部活動、体育祭などの学校行事での経験を具体的に思いだし、その経験が自分をどのように成長させたかを再認識できます。このようなやりとりで、自分の考えを深め、自分の価値観を認識し、自分についてより知ることができるようになります。

生徒との短いやりとりの中で、自分が何をしたいのか、どんなことができるのか、小値賀について何を知っているのかなど、それぞれの考え、価値観を一人ひとりがしっかりと持っているのを感じます。これは、生徒の話から小学校、中学校を通していろんなことを経験し、学んできたことが積み重なりかたちづくられていることがわかります。あたりまえのことですが、それぞれの生育過程での働きかけがあって、生徒は成長してきたと再認識した面接練習でした。

1月の行事予定

日	曜	行事予定
4日	月	冬季学習会（3年）～7日
6日	水	出初式参加（吹奏楽部）
6日	水	佐世保市バドミントンダブルス大会
8日	金	始業式、1・2年実力テスト
12日	火	1・2年実力テスト、3年考査時間割発表、朝学タイム開始
16日	土	センター試験～17日
19日	火	3年学年末考査～21日、マラソン健康診断
21日	木	消費生活支援講座（3年）
22日	金	主権者教育（3年）
23日	土	校外模試1・2年
24日	日	校外模試2年
26日	火	保健指導（3年）
27日	水	郷土料理教室（3年）
28日	木	マラソン大会
29日	金	マラソン大会予備日



小中高一貫教育後期「人権学習」

12月2日（水）本校体育館において長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長の広瀬訓教授をお招きし、「～身近な「平和」を考えよう～」の演題で小値賀中学校2・3年生、北松西高校合同での人権学習を実施しました。

今年度は「自分と異なる文化や価値観を認めようとする姿勢」「違いは豊かさにつながる」が、いじめ撲滅のスローガンであると同時に、国際社会において重要なことであるとの立場に立ち、身近な「平和」から社会や世界を見る目を育てることをねらいとしました。



広瀬訓教授の丁寧な説明



真剣な眼差し



生徒代表お礼のこぼ

—生徒感想—（1年男子）

今回の人権学習のテーマである「身近な平和を考える」について「平和」という大きな問題を考えるととてもよい機会になったと思います。僕が今日思ったことは「平和」とは何か、どのようにすれば「平和」になるのかです。今日改めて「人権」「平和」はお互いに深く結びついているということがわかりました。人権が守られないところでは争いが起きることが多く、また平和がなければ、人権が無視されるということもわかりました。世界の争いは、人間や動物の命を奪い、人間らしい生活を奪い、考えや表現の自由を奪います。今回の経験から言えることは「平和」は昔にくらべて身近になってきているが格差が大きいということです。これからは、もっと世界中が「平和」になっていけばよいと思いました。今、私ができることを心にきざみ自分の周りの友人や家をもう一度見つめなおしたいと思います。

卒業レポート発表会

12月17日（木）、3学年の卒業レポート発表会がありました。班に分かれて、それぞれテーマを決め、1学期から取り組み、その成果を発表しました。発表後は1、2年生や先生方との質疑応答を活発に行いました。

1班 「小値賀の海の現状 ～海洋変化が引き起こす問題～」

動機：最近の鮫の出現をきっかけに海洋の変化があると考え、どのように変化しているのか、また原因は何なのか。



2班 「小値賀の農業について ～農業の現状と産業との関わり～」

動機：小値賀の農業について赤土が農業に及ぼす影響は何か。



3班 「野崎島における観光と現状と課題」

動機：世界遺産候補であり有名になりつつある野崎島の現状を知り、より発展していくための足掛かりになればよいと思った。



2学年修学旅行

12月7日（月）から12月11日（金）の5日間、2学年団が修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、事故や怪我等もなく、無事に日程を終えることができました。

生徒達は、普段とは違う環境の中で多くのことを学ぶことができました。

— 旅行行程 —

1日目：大坂城

2日目：国際交流（関西国際大学）・東大寺・唐招提寺・薬師寺（説法体験）
劇団四季 ミュージカル「ライオンキング」鑑賞

3日目：京都市内班別自主研修

4日目：道頓堀散策、ユニバーサルスタジオジャパン

5日目：門司港レトロ・九州国立博物館・太宰府天満宮



小値賀港にて出発式



新幹線の様子



大阪城で記念写真



国際交流の様子



東大寺で鹿とパチリ



快速電車の中で



ユニバーサルスタジオジャパン



船内でバイキング



大宰府天満宮にお参り

編集後記 松のひとりごと・・・

いよいよ2015年も終わり、新たな年を迎えようとしています。皆さん今年の内にやっておきたいこと、心残りなどはありませんでしょうか。年が明ければ3月まであっという間です。特に3年生は新しいステージに向けてこれからも頑張ってください！

